



第1回定例会

平成24年度予算

安心安全で快適なまちづくり

防災対策を柱に

一流で品格のある
農村社会の構築を

施政方針

財政基盤は歳入の根幹となる町税の減少と歳入の4割を占める普通交付税の動向次第という厳しい状況にある。借入金残高は着実に減少したものの依然として高水準にある。さらに少子高齢化が急速に進展するなか、社会保障関係の増加傾向は避けられない。こうした状況を踏まえつつ、町の気質、特性、潜在力、社会基盤を最大限に活かし、町民一人ひとりの誇りの醸成につながる「一流で品格のある農村社会」の構築を目指す。

健康・福祉のまちづくり

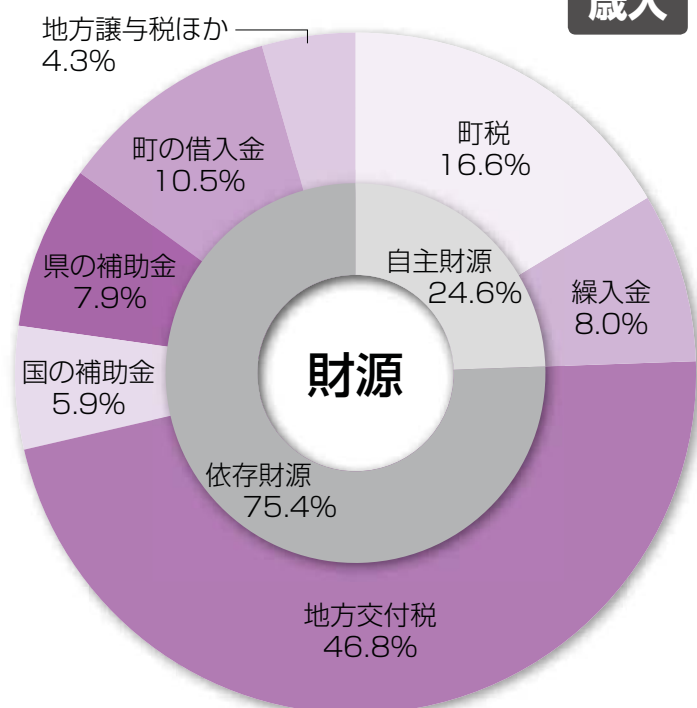
災害時要援護者避難支援制度の普及にあわせ、外出支援、生活支援を中心に「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会」の形成を目指す。

また子育て支援の強化で少子化対策と若者定住を図る。健康は町民一人ひとりの願いである。ワクチン^{注1}接種の助成に加え健康診査の機会を充実し、疾病予防と健康管理意識の高揚を図る。

産業が元氣なまちづくり

基幹産業の農業は、力強い経営体の構造への転換を目指す。そのため基盤・環境整備は地域ぐるみの取り組みに

歳入



(注1) ワクチン
①子宮頸ガン ②ヒブ ③肺炎球菌
④季節性インフルエンザ

財政は 人 材 い い にんぶで 1 0 一般会計 112億610

教育・文化のまちづくり

豊かな感性をもち、確かな学力を身につけ人間関係など社会性を育む教育を基本とする。

豊かな自然と歴史的遺産に恵まれた世羅の特質を守り、啓発を図る。

一方で各種団体や自治組織との連携と支援で「人づくり」に積極的に取り組む。

力点を置く。

一方で商工会や観光協会への支援や連携強化で、町の魅力アップを図り「人が集まる町づくり」に取り組む。



全国に誇る駅伝の里 我が世羅高生

快適で安全なまちづくり

日々の生活と経済活動に欠くことのできない道路網の整備を関係機関に働きかける。

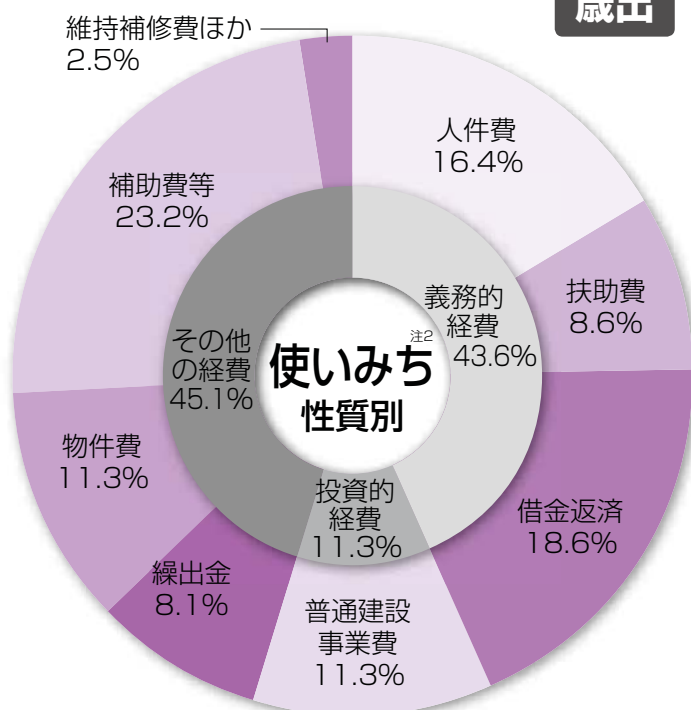
特に、町道の安全性と利便性の向上に努力する。

生活環境面では、公害事業への迅速な対応と再発防止に努める。

また省エネルギーや自然エネルギーの利用を促進し、脱温暖化のまちづくりを推進する。

地域主権の進展に伴い、町民と行政が地域の課題を共に考え行動する町民参加の町政実現を目指す。

歳出



財源

款名	歳入予算額	財源区分	比率(%)
町税	18億6,728万円	自主	16.6
繰入金	8億9,851万円	自主	8.0
地方交付税	52億7,500万円	依存	46.8
国の補助金	6億6,079万円	依存	5.9
県の補助金	8億9,247万円	依存	7.9
町の借入金	11億8,720万円	依存	10.5
地方譲与税ほか	4億7,975万円	依存	4.3
合計	112億6,100万円	—	100.0

使いみち

性質別区分	当初予算額	比率(%)
人件費	18億4,916万円	16.4
扶助費	9億6,950万円	8.6
借入金返済	20億8,626万円	18.6
普通建設事業費	12億7,027万円	11.3
繰出金	9億1,653万円	8.1
物件費	12億7,307万円	11.3
補助費等	26億1,195万円	23.2
維持補修費ほか	2億8,426万円	2.5
合計	112億6,100万円	100.0

(注2) 歳出予算の使いみち

○人件費 議員報酬、職員給与など ○扶助費 生活保護費や医療給付費 ○公債費 借入金の返済経費

○普通建設事業 道路や学校、公共施設整備などの経費 ○補助費等 各種団体への補助金や、公営企業へ繰出

○物件費 光熱費、委託料、賃金等 ○繰出金 特別会計などに繰出すもの ○維持補修費、積立金など 修繕費、積立金など